

鹿児島県歴史資料センター黎明館 所蔵品目録 (Ⅶ) 考古

Catalogue of Collections (Ⅶ) Archaeology Section
Kagoshima Prefectural Museum of Culture
REIMEIKAN
1990



鹿児島県歴史資料センター黎明館

鹿児島県歴史資料センター黎明館

所蔵品目録 (VII) 考古

Catalogue of Collections (VII) Archaeology Section

Kagoshima Prefectural Museum of Culture

REIMEIKAN

1990

鹿児島県歴史資料センター黎明館

《表紙写真》

白金崎古墳出土の副葬品

はじめに

鹿児島県歴史資料センター黎明館に収蔵・展示する資料の収集については、県民の皆様や県外にお住まいの本県出身者の方々などの積極的な御協力により、現在約6万5千点の資料を収蔵しています。

ここに、あらためて皆様の御協力に対し、厚く御礼申し上げます。

当館の資料については、広く県民や関係者の方々に活用されることを願って、本年度は「美術・工芸」「文書」「産業(Ⅰ)」「産業(Ⅱ)」「歴史」「民俗」に引き続き、所蔵品目録第7輯として「考古」の部を発行することにしました。

考古資料は、かつて県立博物館に所蔵されていたものを中心に、県内だけでなく少数の国外資料も含まれています。

この目録が、地域文化の向上のための一助になれば幸いです。

平成2年3月

鹿児島県歴史資料センター黎明館

館長 井之口 恒雄

凡 例

1. この目録は、黎明館が平成元年12月末日現在収蔵している考古資料を収録したもので、寄託資料は除外した。
2. 資料の材質、時代等によって13種に分け、その分類した種類別に番号をつけ、その番号の前に種類ごとの略記号を付した。この番号は台帳番号とは異なる。
3. 略記号は次のとおりである。
縄文土器(J)、弥生土器(Y)、土師器(H)、須恵器(Su)、陶磁器(C)、土製品(P)、石器(S)、石製品(Ss)、鉄製品(F)、銅製品(Br)、骨角・貝製品(B)、木製品(W)、自然遺物(N)
4. 写真の大小比は実物と一致しない。
5. 大きさの単位は cm である。
6. 受入方法の贈は寄贈、保は県立博物館からの保管転換、採は採集の略記である。
7. 実測図のうち、一部は224ページの文献から転用したが、破損部など部分的に改変したものがある。
8. 土師器の実測図で、網がかぶせてあるのは丹塗りの部分である。
9. 土器の分類には館専門員河口貞徳氏、石材の分析には県工業振興課前野昌徳氏、獣骨の分析には鹿児島大学助教授西中川駿氏、人骨の分析には長崎大学助教授松下孝幸氏の協力を得た。

目 次

はじめに	3
凡 例	4
目 次	5
I カラー図版	7
II 土器（写真・実測図）	15
III 土製品（写真・実測図）	129
IV 石器（写真・実測図）	138
V 石製品（写真・実測図）	180
VI 鉄製品（写真・実測図）	185
VII 銅製品（写真・実測図）	214
VIII 骨角・貝製品（写真・実測図）	217
IX 木製品（写真）	219
X 自然遺物（写真）	220
XI 文献	224
XII 索引	224



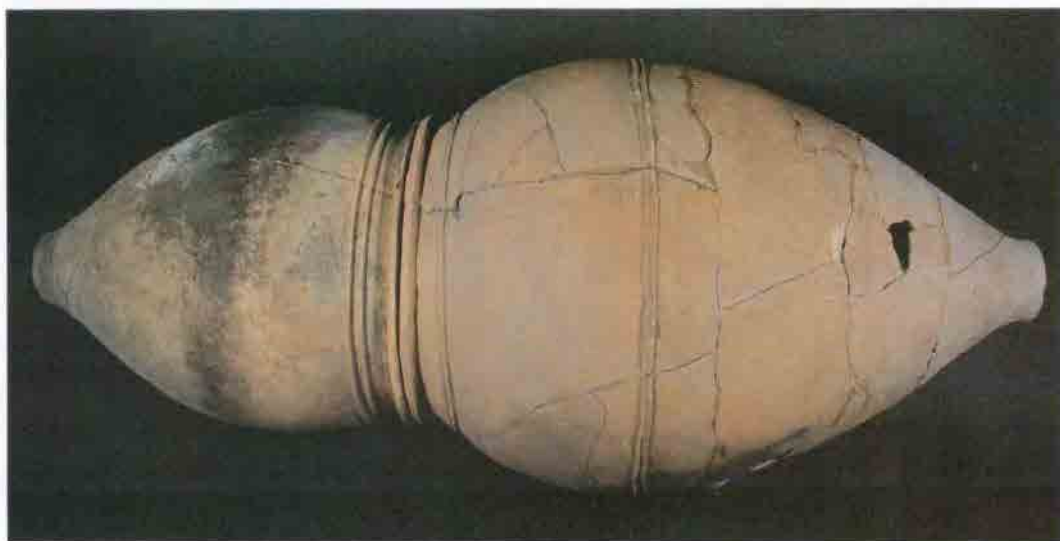
塞ノ神式土器 (J1)



市来式土器 (J47)



高橋II式土器 (Y1)



甕 棺 (Y6・7)



甕形土器 (Y8)



壺形土器 (Y20)



壺形土器 (Y16)



壺形土器 (Y11)

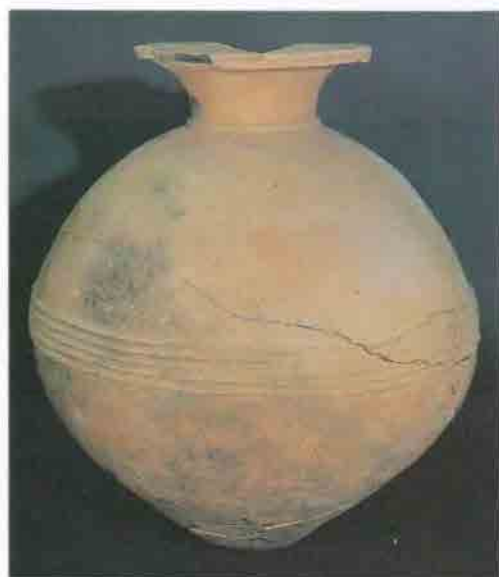


甕 棺 (Y17)

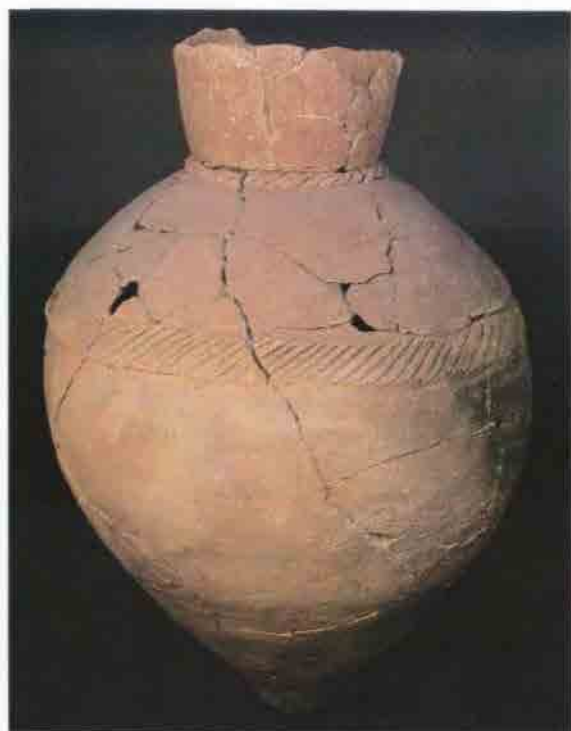


高环形土器 (Y18)

大型壺形土器



H23



H36



H35



H37



甕形土器 (H17)



長頸壺形土器 (H217)



(左から H72・H78・H84・H85)
埴形土器



埴形土器 (H83)



高坏形土器 (左から H129・H122・H128)



高坏形土器 (H125)



小型壺形土器 (H202)



須惠器横瓶 (Su2)



須惠器提瓶 (Su3)



円筒埴輪 (P1)



軒丸瓦 (上左P25, 上右P20, 下左P24, 下右P21)



軒平瓦 (P19)



軽石石棺 (Ss133)



石鏃・石匙などの石器



削器・掻器・石斧・石錘



(左から
S2
・
S3
・
S1)
ポ
イ
ン
ト



(左から
S102
・
S119
・
S99
・
S110)
打
製
石
斧



(左から
S123
・
S125
・
S157
・
S138
・
S136)
磨
製
石
斧



(左から
S153
・
S160
・
S158
・
S144)
磨
製
石
斧



鉄製品各種



わらび手刀 (Br16)



刻 骨 (B5)

II 土器

1 縄文土器



J 1

型式名 塞ノ神B式土器
時期 早期
出土地 鍋谷洞穴（始良町）
大きさ 口径35 高さ28
受入方法 昭50.8 保
台帳番号 40-65
備考 底部欠損
口縁部に貝殻押圧文。
口縁部から頸部にかけて二枚貝腹
縁押圧文。胴部にヘラ描き凹線文。



J 2

型式名 撚糸文土器
時期 早期
出土地 不明
大きさ たて4.5 よこ3.5
受入方法 昭50.8 保
台帳番号 123
備考 破片



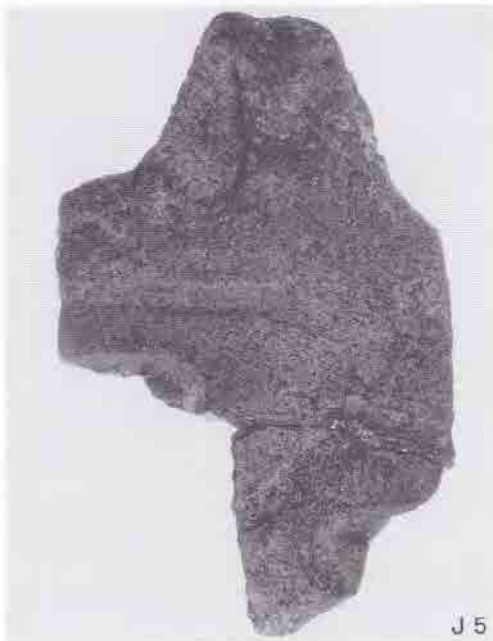
J 3

型式名 岩崎上層式土器
 時期 後期
 出土地 岩崎遺跡（田代町）
 大きさ たて11.5 よこ11.5
 受入方法 昭50.8 保
 台帳番号 110
 備考 口縁部
 上に貝殻押圧文
 下にへら凹線文様



J 4

型式名 岩崎上層式土器
 時期 後期
 出土地 岩崎遺跡（田代町）
 大きさ たて5.5 よこ10
 受入方法 昭50.8 保
 台帳番号 113
 備考 口縁部
 横方向の凹線3本
 斜方向の凹線1本



J 5

型式名 岩崎上層式土器
 時期 後期
 出土地 岩崎遺跡（田代町）
 大きさ たて11.5 よこ8
 受入方法 昭50.8 保
 台帳番号 108
 備考 口縁部
 突起部のまわりに押圧文
 へらの凹線文様



J 6

J 6

型式名 指宿式土器
 時期 後期
 出土地 岩崎遺跡（田代町）
 大きさ たて9 よこ12
 受入方法 昭50.8 保
 台帳番号 109
 備考 口縁部
 2条の横方向凹線文と凹線曲線文
 輪積みの痕を残している



J 7

J 7

型式名 指宿式土器
 時期 後期
 出土地 岩崎遺跡（田代町）
 大きさ たて11 よこ14
 受入方法 昭50.8 保
 台帳番号 118
 備考 波状の口縁部
 外は並行する2条の凹線・X字・
 曲線文。内にも一部凹線文



J 8

J 8

型式名 岩崎上層式土器
 時期 後期
 出土地 横山遺跡（鹿屋市）
 大きさ たて4 よこ5.5
 受入方法 昭50.8 保
 台帳番号 124
 備考 波状の口縁部
 内外に凹線文
 口唇部に刻み



J 9

J 9

型式名 指宿式土器
 時期 後期
 出土地 横山遺跡（鹿屋市）
 大きさ たて6.5 よこ10
 受入方法 昭50.8 保
 台帳番号 131
 備考 内外ともにヘラによる凹線文



J 10

J 10

型式名 岩崎上層式土器
 時期 後期
 出土地 光山貝塚（鹿児島市）
 大きさ たて4 よこ5.5
 受入方法 昭55.3 贈
 台帳番号 245-1
 備考 波状口縁
 口縁部肥厚
 外面に凹線文



J 11

J 11

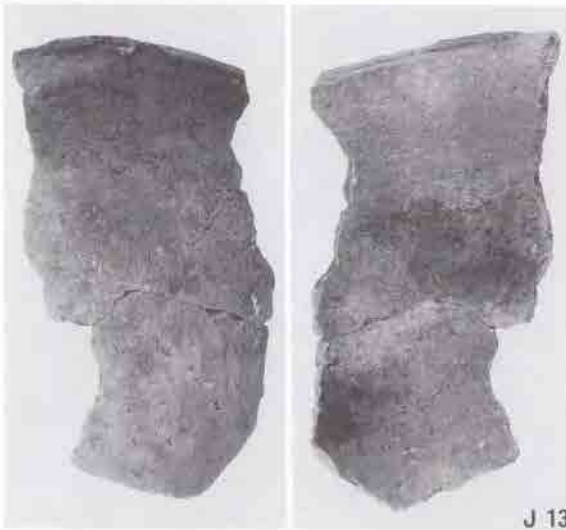
型式名 指宿式土器
 時期 後期
 出土地 光山貝塚（鹿児島市）
 大きさ たて9 よこ10
 受入方法 昭55.3 贈
 台帳番号 245-2
 備考 外面に凹線文



J 12

J 12

型式名 松山式土器
 時期 後期
 出土地 光山貝塚（鹿児島市）
 大きさ たて12 よこ10
 受入方法 昭55.3 贈
 台帳番号 245-3
 備考 口唇部の厚い口縁部
 深い凹線文



J 13

J 13

型式名 松山式土器
 時期 後期
 出土地 光山貝塚（鹿児島市）
 大きさ たて21 よこ12
 受入方法 昭55.3 贈
 台帳番号 245-4
 備考 口縁部
 口唇部に凹線文様



J 14

J 14

型式名 松山式土器
 時期 後期
 出土地 光山貝塚（鹿児島市）
 大きさ たて7.5 よこ11
 受入方法 昭55.3 贈
 台帳番号 245-5
 備考 波状口縁の突起部
 口縁の肥厚部に2条の凹線文



J 15

型式名 松山式土器
時期 後期
出土地 光山貝塚（鹿児島市）
大きさ たて19.5 よこ15
受入方法 昭55.3 贈
台帳番号 245-6
備考 波状口縁の突起部
口縁の肥厚部に2条の細い凹線と
その間にへう押圧文



J 16

型式名 松山式土器
時期 後期
出土地 光山貝塚（鹿児島市）
大きさ たて6 よこ7
受入方法 昭55.3 贈
台帳番号 245-7
備考 波状口縁の突起部
口縁の肥厚部に1条の深い凹線と
二枚貝押圧文



J 17

型式名 松山式土器
時期 後期
出土地 光山貝塚（鹿児島市）
大きさ たて7 よこ10.5
受入方法 昭55.3 贈
台帳番号 245-8
備考 波状口縁の突起部
口縁の肥厚部に2条の凹線



J 18

J 18

型式名 松山式土器
時期 後期
出土地 光山貝塚（鹿児島市）
大きさ たて6 よこ9.5
受入方法 昭55.3 贈
台帳番号 245-9
備考 口縁部
肥厚部に2条の深い横方向の凹線
とそれに直交する縦方向の凹線



J 19

J 19

型式名 市来式土器
時期 後期
出土地 光山貝塚（鹿児島市）
大きさ たて9.5 よこ11
受入方法 昭55.3 贈
台帳番号 245-10
備考 口縁部
横方向の幅広の凹線文。突起部に
半截のへら押圧。上下にへら押圧



J 20

J 20

型式名 市来式土器
時期 後期
出土地 光山貝塚（鹿児島市）
大きさ たて7 よこ10.5
受入方法 昭55.3 贈
台帳番号 245-11
備考 口縁部。肥厚部に3本の深くて鋭
い凹線。最上部と横線の途切れ部
に二枚貝押圧。横線間の下のほう
にはへら押圧



J 21

J 21

型式名 市来式土器
時期 後期
出土地 光山貝塚（鹿児島市）
大きさ たて6 よこ7
受入方法 昭55.3 贈
台帳番号 245-12
備考 口縁部欠損
2条の凹線と、コーナー部にへら
押圧文。その下にへら刺突文。



J 22

J 22

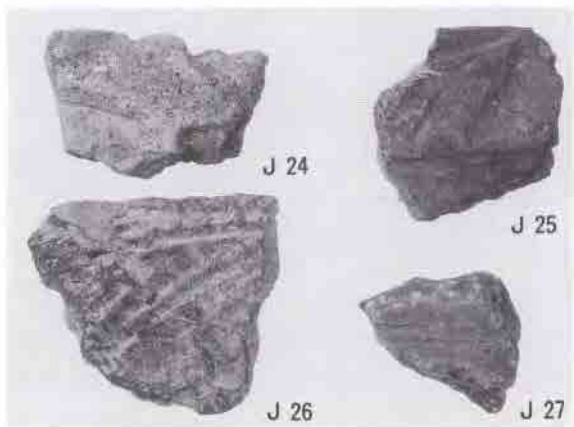
時 期 後期
 出 土 地 光山貝塚（鹿児島市）
 大 き さ たて9 よこ8.5
 受入方法 昭55.3 贈
 台帳番号 245-13
 備 考 胴部
 縦方向のへら沈線文



J 23

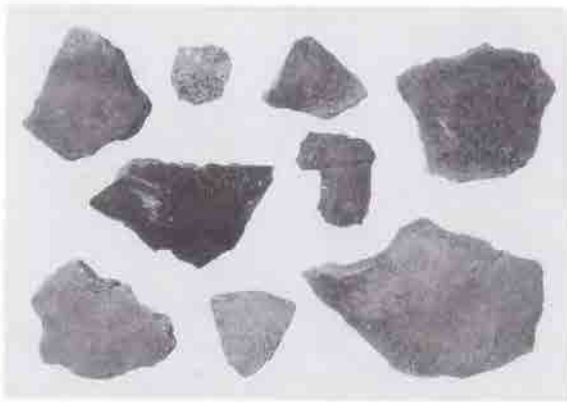
J 23

時 期 後期
 出 土 地 光山貝塚（鹿児島市）
 大 き さ たて5.5 よこ4.5
 受入方法 昭55.3 贈
 台帳番号 245-14
 備 考 底部近く？



J 24~27

時 期 後期
 出 土 地 光山貝塚（鹿児島市）
 大 き さ (24) たて2.5 よこ3.5
 受入方法 昭55.3 贈
 台帳番号 245-15~18
 備 考 24 岩崎上層式土器の口縁部。
 内外面・口唇部に凹線文。
 25 岩崎上層式土器の口縁部、
 凹線文。
 26、27 凹線文



J 28~36

時 期 後期
 出 土 地 光山貝塚（鹿児島市）
 大 き さ （左上）たて6 よこ6.5
 受入方法 昭55.3 贈
 台帳番号 245-19-27
 備 考 36は底部近く



J 37

時 期 晩期
 出 土 地 光山貝塚（鹿児島市）
 大 き さ たて6 よこ6.5
 受入方法 昭55.3 贈
 台帳番号 245-28
 備 考 組織痕土器
 4条の繊維痕のある横方向押圧と
 1条の縦方向押圧

J 37



J 38

型 式 名 出水？式土器
 時 期 後期
 出 土 地 不明
 大 き さ たて8.5 よこ12.0
 受入方法 昭50.8 保
 台帳番号 126
 備 考 口縁部
 口唇部に平行なへら圧痕

J 38



J 39

型 式 名 指宿？式土器
 時 期 後期
 出 土 地 不明
 大 き さ たて5.5 よこ9
 受入方法 昭50.8 保
 台帳番号 135
 備 考 凹線の上に平行する押圧文

J 39



J 40

型式名 出水式土器
 時期 後期
 出土地 不明（貝塚出土？）
 大きさ たて6 よこ10.5
 受入方法 昭50.8 保
 台帳番号 122
 備考 突起を有する波状の口縁部
 縦・斜方向のへら凹線。
 貝殻・石灰分が付着している。



J 41

型式名 岩崎上層式土器
 時期 後期
 出土地 不明
 大きさ たて4 よこ5.5
 受入方法 昭50.8 保
 台帳番号 116
 備考 口縁部
 横方向の凹線



J 42

型式名 指宿式土器
 時期 後期
 出土地 不明
 大きさ たて10 よこ17
 受入方法 昭50.8 保
 台帳番号 111
 備考 波状となる口縁部
 へらによる凹線文様が外面、内面、
 口唇部にみられる。



J 43

型式名 指宿式土器
 時期 後期
 出土地 不明
 大きさ たて5.2 よこ7.5
 受入方法 昭50.8 保
 台帳番号 120
 備考 口縁部
 突起のまわりにへらの凹線文様
 口唇部には細いへら刻み



J 44

J 44

型式名 指宿式土器
 時期 後期
 出土地 不明
 大きさ たて4 よこ5.5
 受入方法 昭50.8 保
 台帳番号 127
 備考 口縁部
 ヘラ凹線文様



J 45

J 45

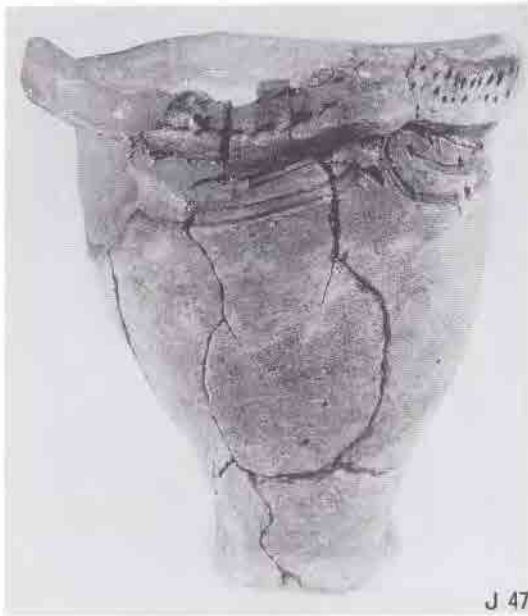
型式名 指宿式土器
 時期 後期
 出土地 不明
 大きさ たて7 よこ5.5
 受入方法 昭50.8 保
 台帳番号 132
 備考 頸部
 ヘラ凹線文様



J 46

J 46

型式名 松山式土器
 時期 後期
 出土地 不明
 大きさ たて4 よこ5.5
 受入方法 昭50.8 保
 台帳番号 136
 備考 口縁部
 端部にヘラによる沈線文と押圧文がある。



J 47

J 47

型式名 市来式土器
 時期 後期
 出土地 草野貝塚（鹿児島市）
 大きさ 口径18.5 高さ22.5
 受入方法 昭50.8 保
 台帳番号 40-72
 備考 4つの稜がある波状口縁
 ややあげ底
 口縁部に2段のへら押圧文
 その下にへら沈線文と押圧文

J 48

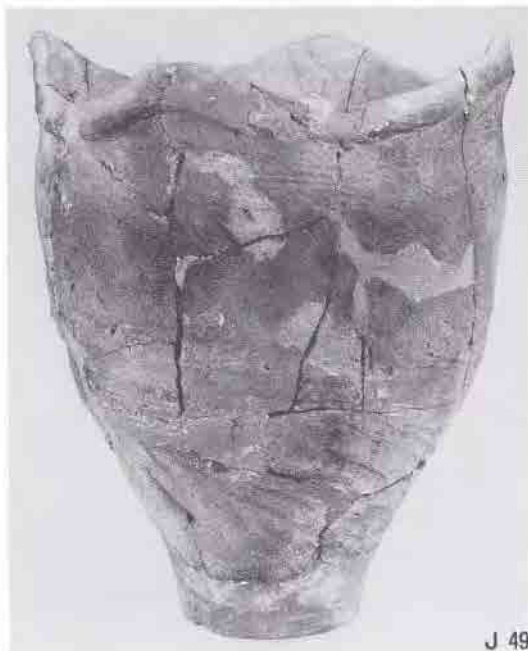
型式名 市来式土器
 時期 後期
 出土地 草野貝塚（鹿児島市）
 大きさ 口径17.5 高さ21.5
 受入方法 昭50.8 保
 台帳番号 40-73
 備考 4つの稜がある波状口縁
 下半部欠損
 内外とも粗いへら横ナデ



J 48

J 49

型式名 市来式土器
 時期 後期
 出土地 草野貝塚（鹿児島市）
 大きさ 口径19.5 高さ24
 受入方法 昭50.8 保
 台帳番号 40-74
 備考 4つの稜がある波状口縁
 口縁肥厚部は貝殻条痕の上に浅い
 刺突文。下半部欠損
 外面下半部は粗いへらナデ



J 49



J 50

型式名 市来式土器
 時期 後期
 出土地 草野貝塚（鹿児島市）
 大きさ 口径16 高さ18.5
 受入方法 昭50.8 保
 台帳番号 40-75
 備考 形がいびつ
 口縁肥厚部にヘラ押圧文
 底は円盤貼付

J 50



J 51

型式名 市来式土器
 時期 後期
 出土地 草野貝塚（鹿児島市）
 大きさ 口径12.5 高さ13
 受入方法 昭50.8 保
 台帳番号 40-76
 備考 4つの稜がある波状口縁

J 51



J 52

型式名 市来式土器
 時期 後期
 出土地 草野貝塚（鹿児島市）
 大きさ 口径19 高さ25.5
 受入方法 昭50.8 保
 台帳番号 40-77
 備考 底部が欠損
 外面は粗いナデ
 内面下半部にはこげ付着

J 52



J 53

型式名 市来式土器
 時期 後期
 出土地 不明
 大きさ たて7 よこ8
 受入方法 昭50.8 保
 台帳番号 114
 備考 口縁部。波状口縁
 肥厚部に半截のへら押圧文
 突起部には深いへら押圧文

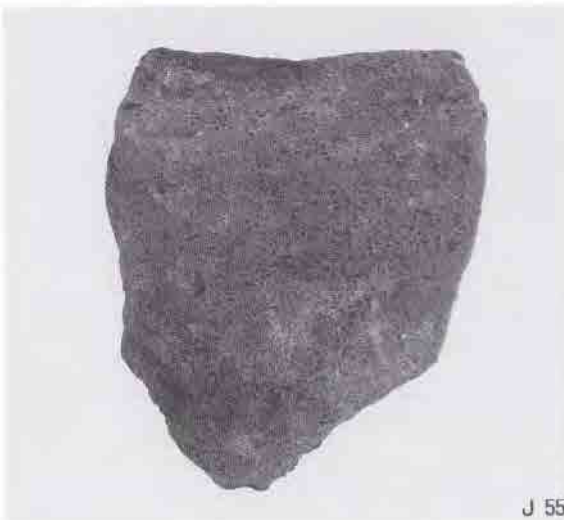
J 53



J 54

型式名 市来式土器
 時期 後期
 出土地 不明
 大きさ たて5 よこ11.5
 受入方法 昭50.8 保
 台帳番号 115・130
 備考 口縁部
 口唇部欠損。肥厚部に斜方向のす
 るどいへら沈線

J 54



J 55

型式名 市来式土器
 時期 後期
 出土地 不明
 大きさ たて6 よこ5
 受入方法 昭50.8 保
 台帳番号 117
 備考 口縁部
 波状口縁
 肥厚部にははっきりしない刺突文

J 55



J 56

J 56

型式名 市来式土器
 時期 後期
 出土地 不明
 大きさ たて4.5 よこ5
 受入方法 昭50.8 保
 台帳番号 121
 備考 口縁部、波状口縁
 2段にわたり二枚貝押圧
 内面は貝殻条痕



J 57

J 57

型式名 市来式土器
 時期 後期
 出土地 不明
 大きさ たて2.7 よこ4
 受入方法 昭50.8 保
 台帳番号 133
 備考 口縁部、波状口縁
 外面に1条のへら凹線



J 58

J 58

型式名 市来式土器
 時期 後期
 出土地 不明
 大きさ たて6 よこ4
 受入方法 昭50.8 保
 台帳番号 134
 備考 口縁部
 波状口縁
 肥厚部に左下がりのへら押圧文



J 59

J 59

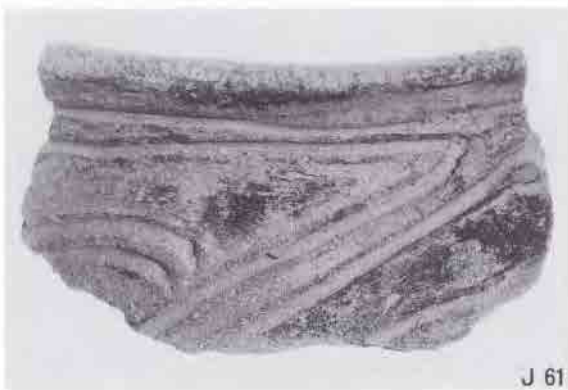
型式名 市来式土器
 時期 後期
 出土地 不明
 大きさ たて4.5 よこ3
 受入方法 昭50.8 保
 台帳番号 137
 備考 口縁部
 肥厚部には横方向の二枚貝押圧を
 挟んで上下に右下がりのへら押圧
 文



J 60

J 60

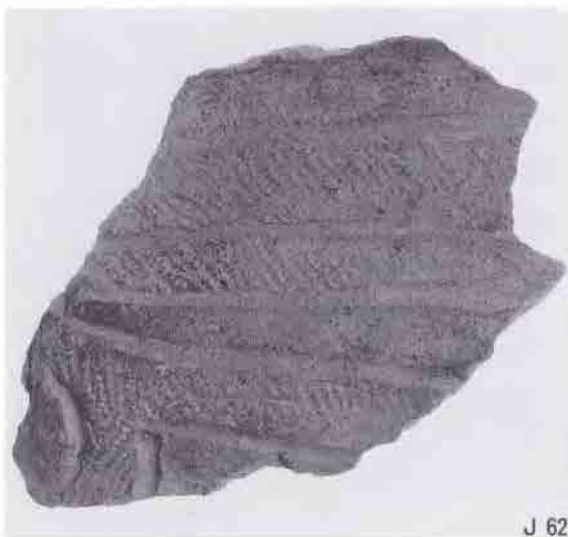
型式名 市来式土器
 時期 後期
 出土地 不明
 大きさ たて5.5 よこ5
 受入方法 昭50.8 保
 台帳番号 125
 備考 胴部
 上下に2段と1段のへら押圧文



J 61

J 61

型式名 鐘ヶ崎式土器
 時期 後期
 出土地 不明
 大きさ たて6 よこ11
 受入方法 昭50.8 保
 台帳番号 112
 備考 口縁部
 口唇部に二枚貝の腹縁押圧文
 平行する2本の凹線文



J 62

J 62

型式名 鐘ヶ崎式土器
 時期 後期
 出土地 不明
 大きさ たて10 よこ13
 受入方法 昭50.8 保
 台帳番号 119
 備考 胴部
 磨消縄文
 内面は横方向の粗いへらナデ



J 63

J 63

型式名 草野式土器
時期 後期
出土地 不明
大きさ たて7 よこ10.5
受入方法 昭50.8 保
台帳番号 128
備考 把手のある口縁部
へらによる凹線文と刺突文が交互
にある。口唇部も押圧文



J 64

J 64

時期 後期
出土地 不明
大きさ たて8 よこ8
受入方法 昭50.8 保
台帳番号 138
備考 胴部



J 65

J 65

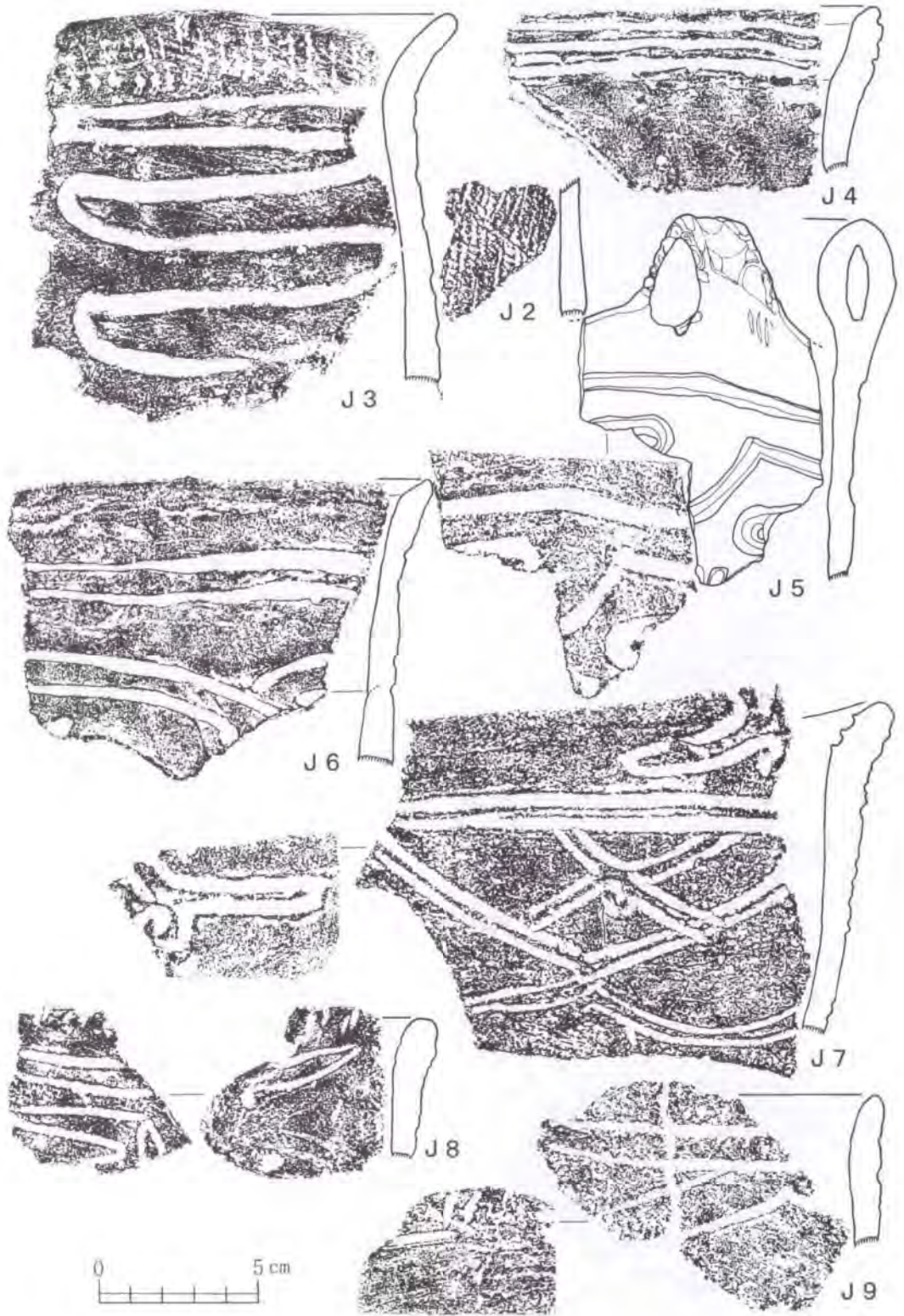
時期 後期
出土地 不明
大きさ 高さ5
受入方法 昭50.8 保
台帳番号 106
備考 平底の底部
外面は縦方向へらナデ
内面は縦方向貝殻条痕
外に石灰分付着



J 66

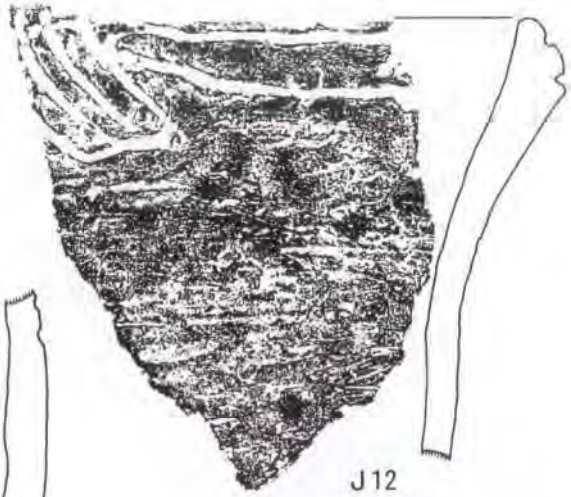
J 66

時期 晩期
出土地 不明
大きさ たて5.5 よこ7.5
受入方法 昭50.8 保
台帳番号 129
備考 口縁部
内外ともに横方向へらミガキ





J10



J12



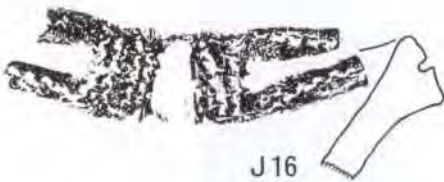
J11



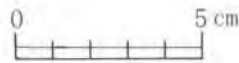
J15



J14



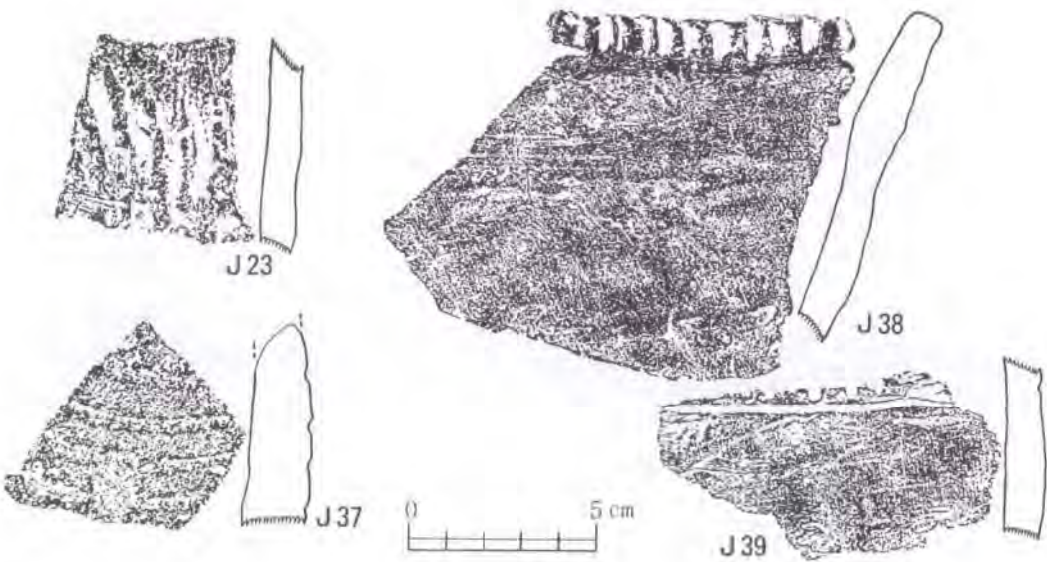
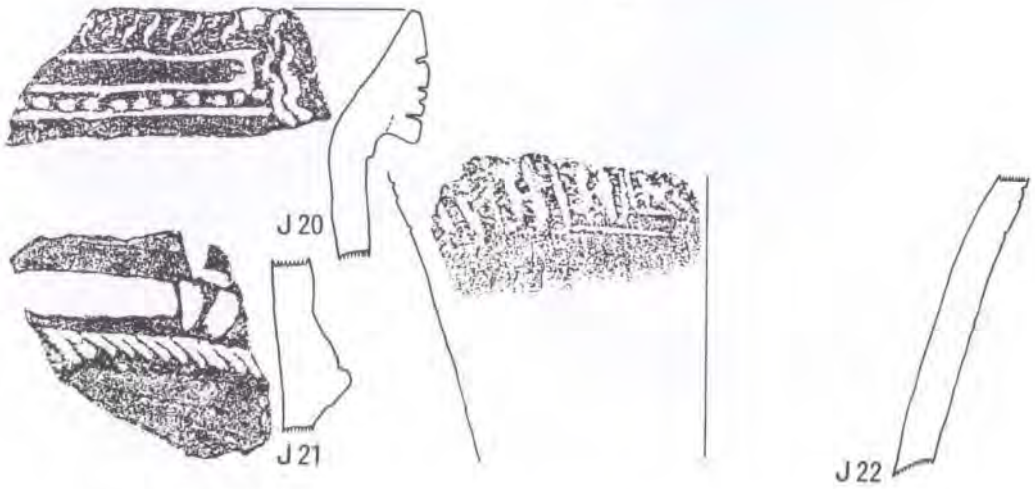
J16

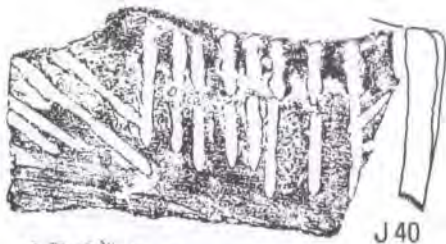


J17



J18

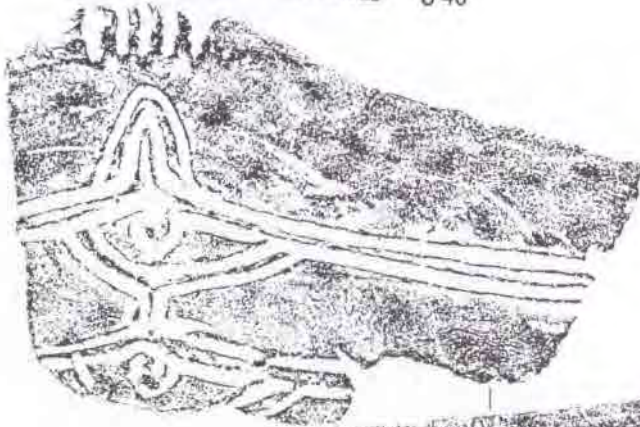




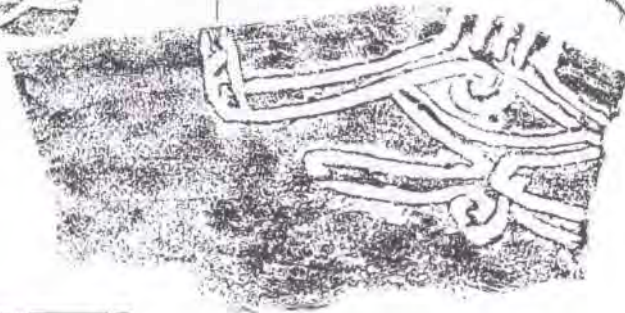
J40



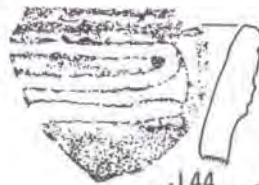
J41



J42



J43



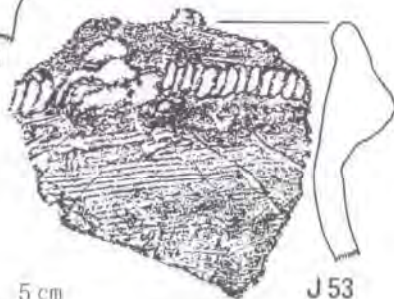
J44



J46

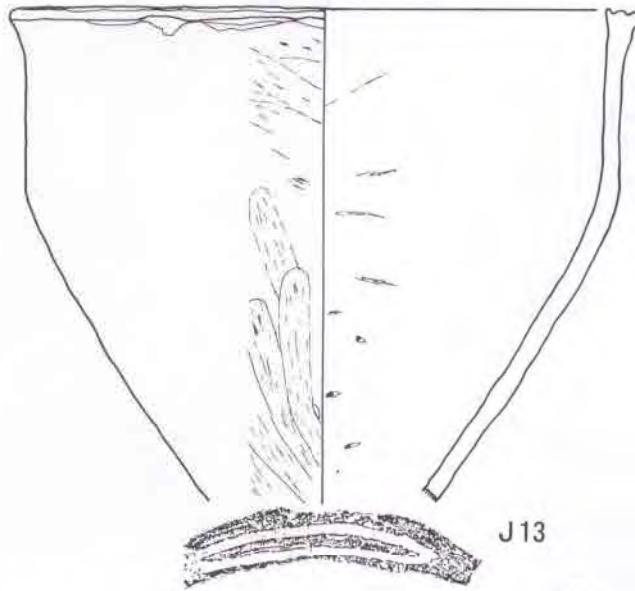
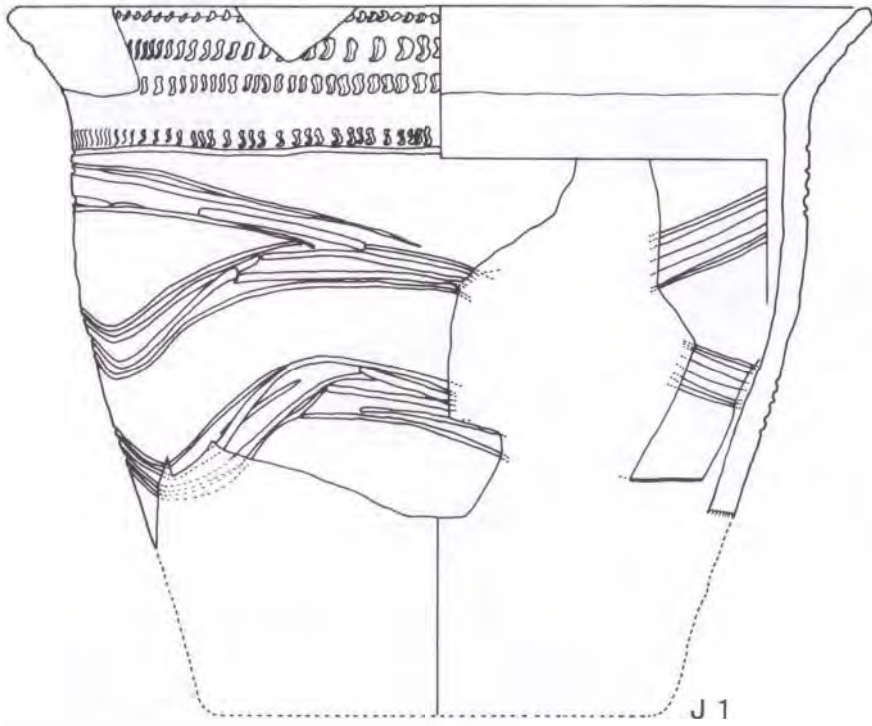


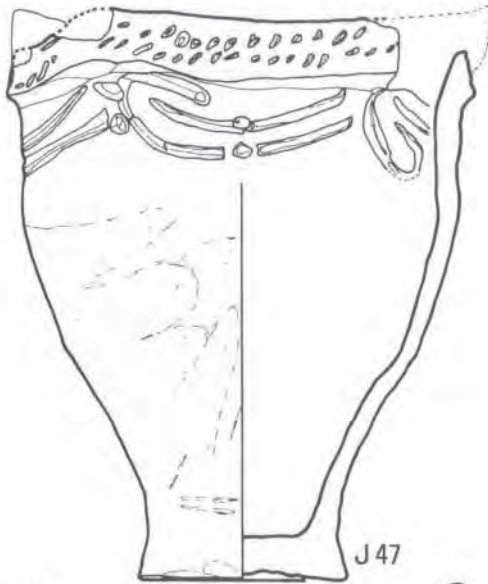
J45



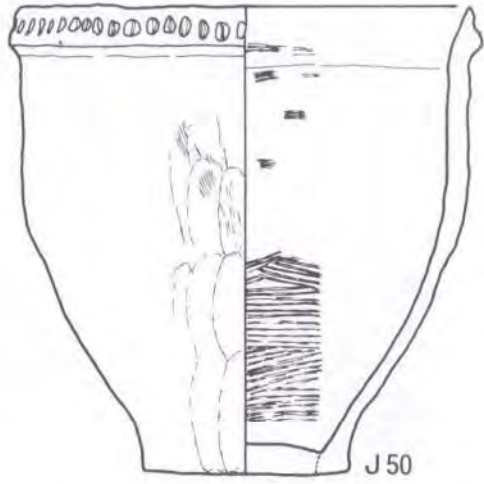
J53



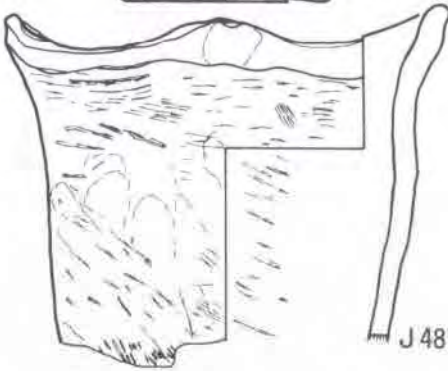




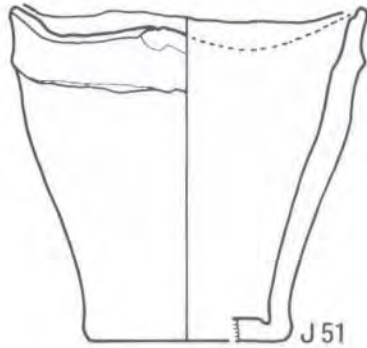
J47



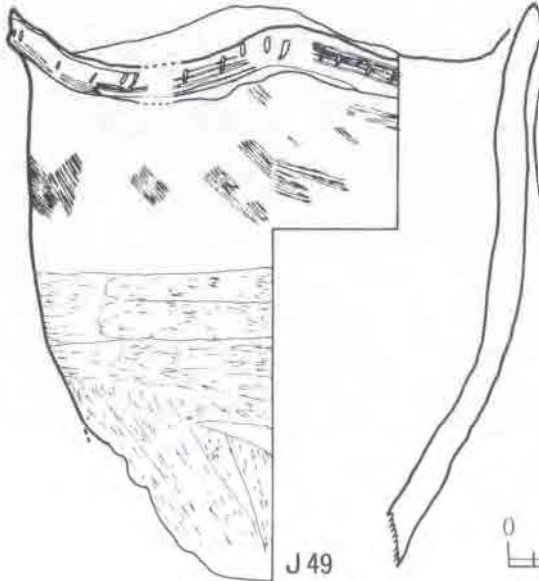
J50



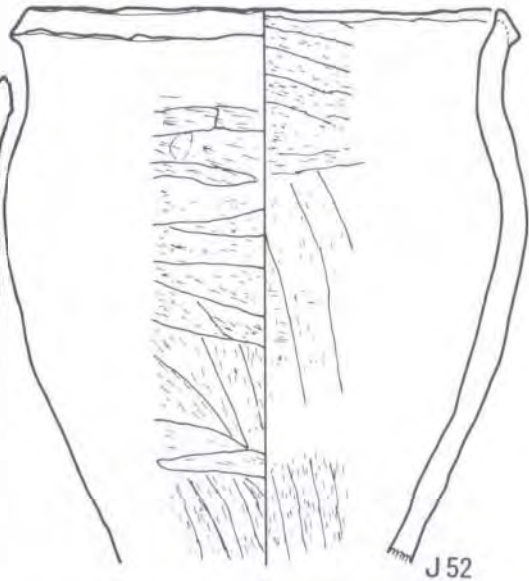
J48



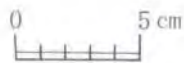
J51

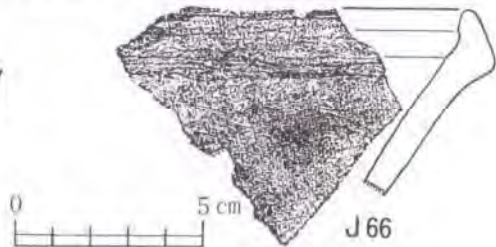
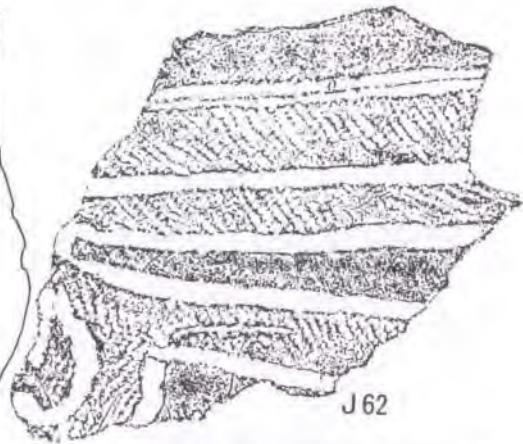
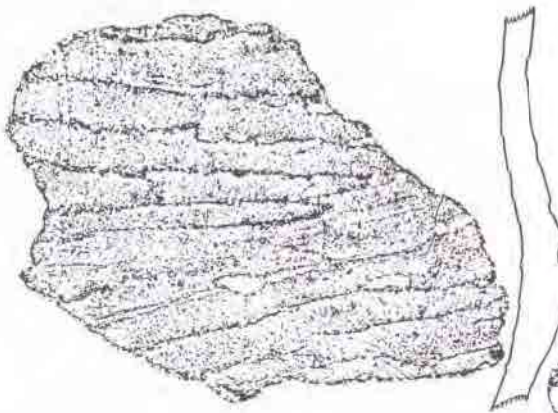
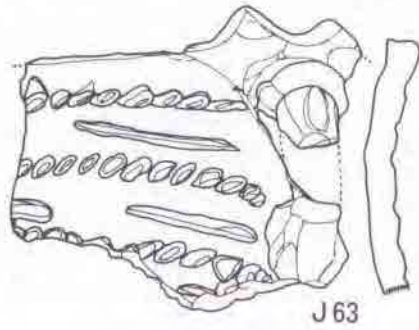
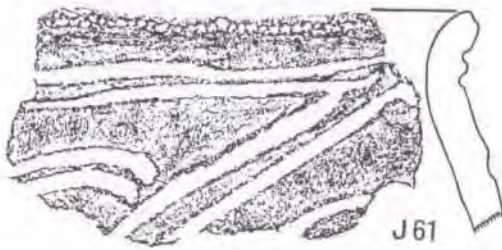
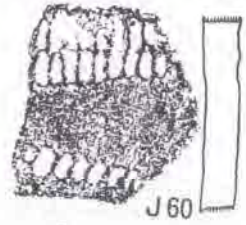
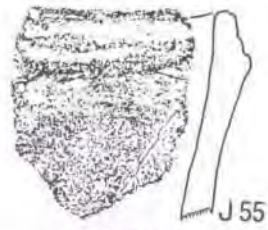


J49



J52





2 弥生土器



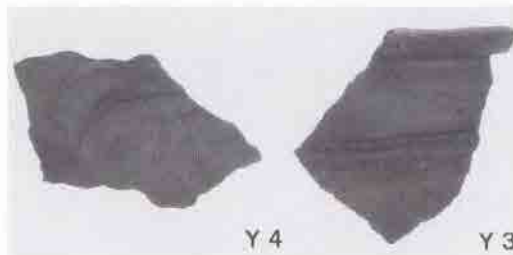
Y 1

器種名 甕形土器
 型式名 高橋Ⅱ式土器
 時期 前期
 出土地 高橋具塚（金峰町）
 大きさ 口径37 高さ33.5
 受入方法 昭50.8 保
 台帳番号 40-94
 備考 口縁部にヘラ刻み
 胴部に突帯。突帯にヘラ刻み。



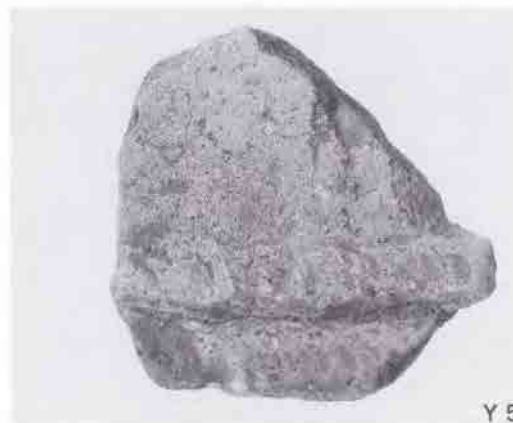
Y 2

器種名 甕形土器
 型式名 入来式土器
 時期 中期
 出土地 入来遺跡（吹上町）
 大きさ たて9 よこ16
 受入方法 採
 備考 口縁部
 肩部に3条の突帯



Y 3・4

器種名 甕形土器
 型式名 入来式土器
 時期 中期
 出土地 入来遺跡（吹上町）
 大きさ （左）たて7，よこ9
 （右）たて8.5，よこ7
 受入方法 採
 備考 ともに2条の突帯
 3は口縁部
 4は突帯が下へおちる



Y 5

器種名 壺形土器
 時期 中期
 出土地 入来遺跡（吹上町）
 大きさ たて5.5 よこ5.5
 受入方法 採
 備考 肩部に2条の貼付突帯



Y 6

器種名 甕棺
 型式名 須玖式土器
 時期 中期
 出土地 立岩遺跡（飯塚市）
 大きさ 口径46×53 高さ73
 受入方法 昭63.3 贈
 台帳番号 295
 備考 下甕
 外表面は磨滅



Y 7

器種名 甕棺
 型式名 須玖式土器
 時期 中期
 出土地 立岩遺跡（飯塚市）
 大きさ 口径57 高さ47
 受入方法 昭63.3 贈
 台帳番号 295
 備考 上甕
 外表面は磨滅



Y 8

器種名 甕形土器
 型式名 山ノ口式土器
 時期 中期
 出土地 山ノ口遺跡（大根占町）
 大きさ 口径26.5 高さ27.5
 受入方法 昭50.8 保
 台帳番号 40-67
 備考 いびつな形態
 3条の三角突帯
 充実脚台
 内面の下半部にこげ付着



Y 9

Y 9

器種名 甕形土器
 型式名 山ノ口式土器
 時期 中期
 出土地 山ノ口遺跡（大根占町）
 大きさ 口径28 高さ31.5
 受入方法 昭50.8 保
 台帳番号 40-68
 備考 3条の三角突帯
 充実脚台
 内面の下半部にこげ付着



Y 10

Y 10

器種名 壺形土器
 型式名 山ノ口式土器
 時期 中期
 出土地 山ノ口遺跡（大根占町）
 大きさ 口径14 高さ34.5
 受入方法 昭50.8 保
 台帳番号 40-70
 備考 底部近くに焼成後の穿孔
 ていねいなヘラミガキ調整



Y 11

Y 11

器種名 壺形土器
 型式名 山ノ口式土器
 時期 中期
 出土地 山ノ口遺跡（大根占町）
 大きさ 口径31 高さ31
 受入方法 昭50.8 保
 台帳番号 40-71
 備考 底部近くに焼成後の穿孔
 口縁部が多く欠損
 コラ付着



Y 12

Y 12

器種名 壺形土器
 型式名 山ノ口式土器
 時期 中期
 出土地 山ノ口遺跡（大根占町）
 大きさ 口径18 高さ12.5
 受入方法 昭50.8 保
 台帳番号 40-183
 備考 口縁内部に1条の三角突帯
 肩部に5条の三角突帯



Y 13

Y 13

器種名 甕形土器
 型式名 山ノ口式土器
 時期 中期
 出土地 成川遺跡（山川町）
 大きさ 口径30 高さ33
 受入方法 昭50.8 保
 台帳番号 40-16
 備考 外面にスス付着
 充実脚台



Y 14

Y 14

器種名 甕形土器
 型式名 山ノ口式土器
 時期 中期
 出土地 成川遺跡（山川町）
 大きさ 口径23 高さ21
 受入方法 昭50.8 保
 台帳番号 40-15
 備考 充実脚台
 底部付近の調整が粗い



Y 15

Y 15

器種名 壺形土器
型式名 山ノ口式土器
時期 中期
出土地 成川遺跡（山川町）
大きさ 口径13.5 高さ34
受入方法 昭50.8 保
台帳番号 40-14
備考 二重の口縁
底部近くに焼成後の穿孔
外面はヘラミガキ



Y 16

Y 16

器種名 壺形土器
型式名 山ノ口式土器
時期 中期
出土地 成川遺跡（山川町）
大きさ 口径19.5 高さ35.5
受入方法 昭50.8 保
台帳番号 40-69
備考 胴部に焼成後の穿孔



Y 17

器種名 甕棺
 型式名 三津永田式土器
 時期 後期
 出土地 成川遺跡（山川町）
 大きさ 口径51×31 高さ66
 受入方法 昭50.8 保
 備考 頸部に突帯
 胴部に焼成後の穿孔
 外面全体と内面の一部ミガキ



Y 18

器種名 高坏形土器
 時期 後期
 出土地 成川遺跡（山川町）
 大きさ 口径34 高さ23
 受入方法 昭50.8 保
 台帳番号 40-44
 備考 脚部に4個の円孔
 外面はヘラミガキ



Y 19

器種名 壺形土器
型式名 山ノ口式土器
時期 中期
出土地 神川（大根占町）
大きさ 口径13.5 高さ29.5
受入方法 昭50.8 保
台帳番号 61
備考 肩部にへらによる1条の横線と2条の鋸歯状の凹線
表面の磨減が激しい



Y 20

器種名 壺形土器
型式名 山ノ口式土器
時期 中期
出土地 千束遺跡（根占町）
大きさ 口径31.5 高さ25
受入方法 昭50.8 保
台帳番号 40-66
備考 底部欠損
内外ともていねいなへらミガキ



Y 21

器種名 壺形土器
型式名 山ノ口式土器
時期 中期
出土地 田崎（鹿屋市）
大きさ たて7.5 よこ8.5
受入方法 昭50.8 保
台帳番号 86-1
備考 肩部
2条の突帯



Y 22

器種名 甕形土器
型式名 山ノ口式土器
時期 中期
出土地 宮ノ浦遺跡（上屋久町）
大きさ 裾径8 高さ8
受入方法 贈
備考 充実脚台



Y 23

器種名 甕形土器
型式名 山ノ口式土器
時期 中期
出土地 宮ノ浦遺跡（上屋久町）
大きさ 最大径7 高さ8
受入方法 贈
備考 充実脚台



Y 24

器種名 壺形土器
型式名 山ノ口式土器
時期 中期
出土地 不明
大きさ たて7.5 よこ10
受入方法 昭50.8 保
台帳番号 86-3
備考 肩部
2条の三角突帯



Y 25

Y 25

器種名 甕形土器
 型式名 山ノ口式土器
 時期 中期
 出土地 不明
 大きさ 高さ11.5
 受入方法 昭50.8 保
 台帳番号 85
 備考 口縁部
 3本の三角突帯



Y 26

Y 26

器種名 壺形土器
 時期 後期
 出土地 不明
 大きさ 長さ12 幅3.5
 受入方法 昭50.8 保
 台帳番号 88-1
 備考 口縁近くの破片



Y 27

Y 27

器種名 甕形土器
 型式名 江別式土器
 出土地 北海道
 大きさ 口径10 高さ10
 受入方法 昭50.8 保
 台帳番号 107
 備考 完形
 突帯と燃糸文

